



第115期 中間報告書

平成27年4月1日 ▶ 平成27年9月30日

株主の皆さまへ

株主の皆さまには、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
当社第115期上半期の概況についてご報告申し上げます。

■当社を取り巻く情勢と業績

本年度上半期の世界経済は、米国では景気拡大が継続し、欧州も堅調な回復を維持してきました。また、中国を始めとするアジア新興国の一部では経済成長の伸び率鈍化が見受けられました。わが国経済は、政府による各種政策を背景に企業収益や雇用情勢が改善傾向にあり、景気は緩やかながらも回復基調が続きました。

主要地域の新車販売台数は、米国では景気拡大を背景に前年同期を上回り、欧州では販売台数の増加が続き回復傾向が見られました。一方、中国では消費者心理の冷え込みにより前年同期を下回りました。日本では、前年の消費税増税前の駆け込み需要の反動に加え、今年4月に実施された軽自動車税増税が影響し、前年同期を下回りました。

こうした状況のもと、当社グループの業績は上半期としては過去最高となり、連結売上高は5,072億円、連結営業利益は169億4千万円と前年同期と比較して増収増益となりました。

■競争力強化に向けた取り組み

今後の世界経済は、中国を始めアジア経済の見通しに懸念はあるものの緩やかなペースで成長し、わが国の経済も回復基調が続くものと思われれます。

当社は持続的な成長に向けて経営基盤の強化を図っており、グローバルな生産分担の最適化や設計の一層の現地化など、収益力を向上させるためのさまざまな活動に引き続き取り組んでおります。特に中国やアセアン諸国では、部品の現地調達をさらに進めることで製品競争力を高めると同時に、急激な為替変動の影響を受けにくい生産体制を構築しております。

また、中期経営計画『CK G×4 T10』で掲げている環境対応

型製品として10製品を創出する計画を立てており、昨年度までに長寿命・低騒音・超小型ブラシレスモーター、クラス世界最軽量を実現したCRコンプレッサー等7製品を開発し、これら製品の受注を拡大しております。また、ドライバーにとって安心・安全・快適さを実現するために表示系・操作系のヒューマンマシンインターフェイス(HMI)として、高輝度ヘッドアップディスプレイ、耐熱・耐久型タッチパネル等の最新技術を融合した次世代コックピットモジュールの開発に取り組んでおります。このほか、将来のパワートレーンの進化に対応したさまざまな製品開発を行なっております。

今後も革新的な技術を生み出し製品競争力を高め「Great Company」として世界トップレベルのサプライヤーをめざしてまいります。

なお、当期の中間配当金につきましては、業績が堅調に推移していることを踏まえ、前期末配当から1株につき1円25銭増配の5円とし、そのお支払いを12月1日からとさせていただきます。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

森谷 弘史

上半期の業績（連結）

■売上高

（単位：億円）



■営業利益

（単位：億円）



■経常利益

（単位：億円）



■親会社株主に帰属する四半期純利益

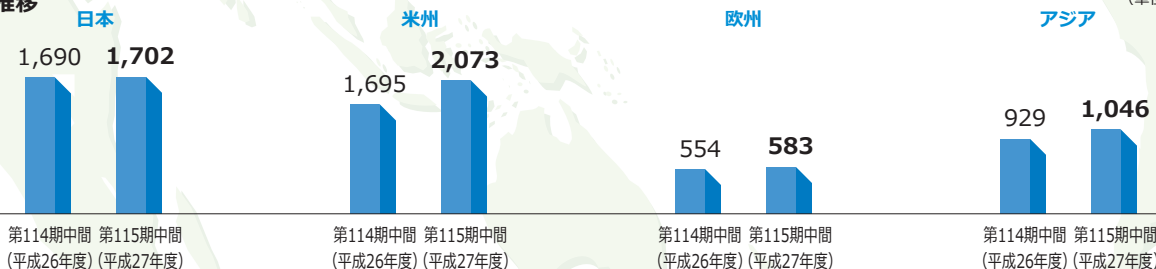
（単位：億円）



地域別状況

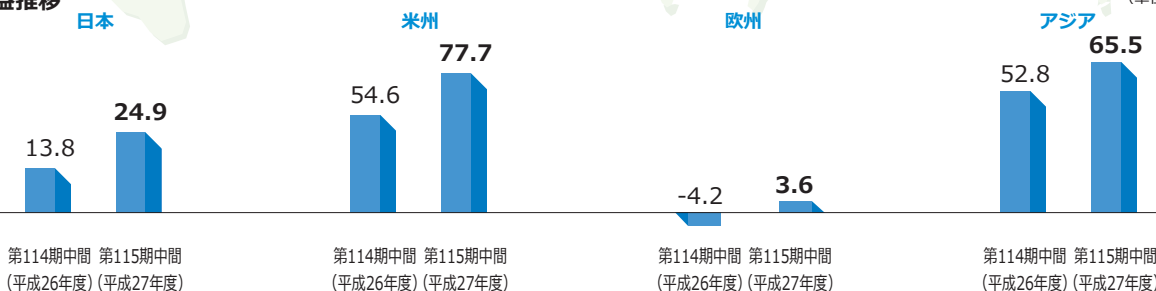
■売上高推移

（単位：億円）



■営業利益推移

（単位：億円）



連結貸借対照表 (要旨)

(単位:百万円)

科目	前期末	当第2四半期
資産の部		
流動資産	293,376	303,163
固定資産	166,456	159,186
有形固定資産	143,063	135,912
無形固定資産	6,267	6,443
投資その他の資産	17,125	16,831
資産合計	459,833	462,350
負債の部		
流動負債	218,059	215,176
固定負債	29,507	27,676
負債合計	247,567	242,852
純資産の部		
株主資本	197,740	208,243
その他の包括利益累計額	1,578	△1,478
非支配株主持分	12,947	12,733
純資産合計	212,266	219,497
負債・純資産合計	459,833	462,350

(注) 記載金額については、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書 (要旨)

(単位:百万円)

科目	前第2四半期	当第2四半期
売上高	455,933	507,292
売上原価	420,447	464,944
売上総利益	35,486	42,348
営業利益	11,721	16,947
営業外収益	1,572	2,699
営業外費用	1,630	1,484
経常利益	11,663	18,162
特別利益	39	28
特別損失	126	349
税金等調整前四半期純利益	11,576	17,841
四半期純利益	8,765	11,812
非支配株主に帰属する四半期純利益	101	292
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,664	11,519

(注) 記載金額については、百万円未満を切り捨てて表示しております。

Topics

■「人とくるまのテクノロジー展2015」に出展

5月に横浜で開催された「人とくるまのテクノロジー展 2015」に今年も出展しました。今回は「Green & Comfort」という二つの重要なテーマを具体化したシステムソリューションを展示し、快適と環境の両立を実現する当社の取り組みを紹介しました。



当社の出展ブース

■第16回上海国際モーターショーに出展

4月に上海で開催された「Auto Shanghai 2015」(第16回上海国際モーターショー)に出展しました。「Green & Comfort」をテーマに、将来コックピットのシステム造形提案モデル、熱エネルギーマネジメントシステムモデル、ヘッドアップディスプレイ(HUD)の体験型モデル、EV熱マネジメントシステム、二重可変タッチスイッチや昨年中国で量産を開始した新型固定容量コンプレッサーなどのコンポーネント製品などを出展し、現地でニーズが高まる環境対応や快適性を追求した最新技術・製品を紹介しました。



当社の出展ブース

■ 次世代コックピットモジュール

ドライバーの視覚・操作・思考を楽にするヒューマンマシンインターフェイス（HMI）の実現をめざしている次世代のコックピットモジュールです。運転に必要な情報を表示するフルカラーTFTメーター、瞬時に情報を認識できる大型ヘッドアップディスプレイ（HUD）、車両とさまざまな情報がつながるスマートフォンリンクなどの技術システムを融合し、開発を行っております。



次世代コックピットモジュール&HMI提案モデル

■ 「キッズエンジニア2015」に参加

名古屋で開催された夏休みの子供向け体験型イベント「キッズエンジニア2015」に、今年も参加しました。当社のブースは、ファンの違いによる風の強弱を調べる実験や、手作りかざぐるまの製作などを体験してもらうことを通じて、自動車の走行に欠かせない部品であるラジエーターの役割を知っていただくことや、昨年に引き続きクルマの組立てをプチ体験（コックピットモジュール組立て体験）していただくコーナーを設けるなど子供たちにクルマの技術に触れる機会を提供しました。



コックピットモジュールの組立て体験

株式の状況

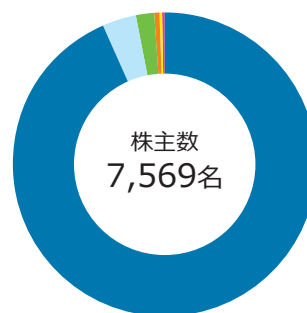
発行可能株式総数・・・・・・・・・・ 600,000,000株
 発行済株式の総数・・・・・・・・・・ 273,241,631株
 (自己株式5,342,837株を含む)
 株主数・・・・・・・・・・ 7,569名 (前期末比504名減)

大株主

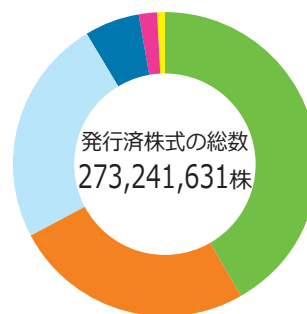
株主名	持株数	持株比率
	(千株)	(%)
日産自動車株式会社	111,163	41.5
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	12,060	4.5
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	11,002	4.1
全国共済農業協同組合連合会	7,304	2.7
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	5,578	2.0
日本生命保険相互会社	5,462	2.0
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE 15PCT TREATY ACCOUNT	4,874	1.8
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口4)	3,710	1.3
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口9)	3,225	1.2
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505223	3,153	1.1

(注) 1. 株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
 2. 持株比率は自己株式を除いて計算しております。
 3. 当社は自己株式5,342千株を保有しておりますが、上記大株主から除外しております。

株式分布状況



■個人・その他 7,072名 (93.43%)
 ■外国人 270名 (3.57%)
 ■その他国内法人 150名 (1.98%)
 ■金融機関 48名 (0.64%)
 ■証券会社 28名 (0.37%)
 ■自己名義株式 1名 (0.01%)



■その他国内法人 114,123,262株 (41.77%)
 ■金融機関 69,757,742株 (25.53%)
 ■外国人 65,859,644株 (24.10%)
 ■個人・その他 16,214,713株 (5.93%)
 ■自己名義株式 5,342,837株 (1.96%)
 ■証券会社 1,943,433株 (0.71%)

会社の概要

商号 カルソニックカンセイ株式会社
設立 昭和13年8月25日
資本金 41,456,240,645円(平成27年9月30日現在)
主要製品 コックピットモジュール、フロントエンドモジュール、エキゾーストシステム、エアコンユニット、コンプレッサー、インストルメントパネル、メーター、電子部品、ラジエーター、コンデンサー、マフラー、コンバーター 他

取締役および監査役

取締役会長	中村克己	監査役(常勤)	根岸一郎
代表取締役社長	森谷弘史	監査役(常勤)	安達凡考
取締役	柿沢誠一	監査役	佐藤伸悟
取締役	藤崎彰	監査役	梅木裕世
取締役	高松則雄		

(注1) 取締役 高松則雄氏は、社外取締役であります。

(注2) 監査役 根岸一郎、梅木裕世の両氏は、社外監査役であります。

(注3) 取締役 高松則雄、監査役 梅木裕世の両氏は、東京証券取引所の定めに基づく独立役員であります。

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 6月
基準日 定時株主総会・期末配当：3月31日
中間配当：9月30日
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
郵便物発送先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
(電話照会先) 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。
単元株式数 1,000株
証券コード 7248
公告方法 電子公告により行います。
公告掲載ホームページ
<http://www.calsonickansei.co.jp/>
但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

事業所

研究開発センター・本社	〒331-8501	埼玉県さいたま市北区日進町二丁目1917番地	☎ 048-660-2111(代)
群馬工場	〒370-0612	群馬県邑楽郡邑楽町新中野132番地	☎ 0276-88-9101(代)
児玉工場	〒367-0206	埼玉県本庄市児玉町共栄540番7号	☎ 0495-72-4321(代)
吉見工場	〒355-0153	埼玉県比企郡吉見町大字久米田628番地	☎ 0493-54-2241(代)
生産技術センター	〒355-0153	埼玉県比企郡吉見町大字久米田628番地	☎ 0493-54-8200(代)
追浜工場	〒237-0061	神奈川県横須賀市夏島町18番地	☎ 046-865-8171(代)
実験研究センター	〒327-0816	栃木県佐野市栄町8番地	☎ 0283-21-8001(代)
宇都宮事務所	〒321-3231	栃木県宇都宮市清原工業団地11番6	☎ 028-667-6684(代)
浜松事務所	〒430-0928	静岡県浜松市中区板屋町110番5 浜松第一生命通ビル3F	☎ 053-458-7745(代)
名古屋事務所	〒446-0056	愛知県安城市三河安城町一丁目9番地2 第二東洋ビル3F-D	☎ 0566-88-0151(代)
倉敷事務所	〒710-0821	岡山県倉敷市川西町十丁目2番地 倉敷川西町 RGB ビル4F	☎ 086-488-0001(代)
広島事務所	〒732-0802	広島県広島市南区大洲四丁目9番15号 マツダ興産第一ビル7F	☎ 082-281-9878(代)

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

「配当金計算書」について

配当金支払いの際にご送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

なお、配当金領収証にて配当金をお受け取りの株主様につきましても、配当金支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。

*確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。



ホームページアドレス <http://www.calsonickansei.co.jp/>